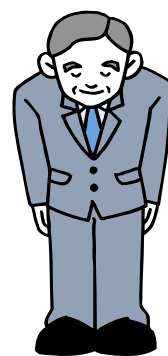


今回から連載を開始する「まちセン通信」では、地域のまちづくり活動を支援する区内十四カ所のまちづくりセンターから、各地区の特色や取り組みについて紹介します。
 第1回は大通公園まちづくりセンターと東北まちづくりセンターです。



※人口・世帯数は、各まちづくりセンターの所管区域ごとの統計です。
 (住民基本台帳ベース・平成18年7月1日現在)

大通公園まちづくりセンター

北1条西9丁目リネージュプラザ1階

☎(251)63553

人口/6,147
 世帯数/4,530

事務所や店舗が集まり札幌・北海道の政治経済をリードしてきた「本府地区」「中央地区」。医療・教育文化・司法で道内拠点の役割を担ってきた「大通地区」。大通公園まちセンの担当はこれら三地区のある「都心どまんなか地域」になります。

市の内外から大勢の人を迎える便利な交通網を整え、大通公園や植物園など貴重なすそ野の環境資源も残す、先人の方々は計画的に街をつくりあげ我々へと引き継いでくれました。

今後は、この遺産をさらに活用しやすい舞台へと再生するため、交通・環境・景観などの施策が展開される予定ですが、街を熟知する地域の方々とともに関係者一体となった取り組みが必要となりそ



▲ビルの谷間にも懐かしい光景と歓声が

うです。長い歴史の中で培われた街のタネに光が当たって花を咲かせる。草の根のように息長く人が底でつながってゆく。時代に適応しながらも伝統を踏まえた、そして、そこで活動する人の息吹が感じられる、そうした着実なまちづくりを一步一歩進めるよう努力していきたいものです。

(村井 鍛 所長)

東北まちづくりセンター

北2条東2丁目

☎(251)8119

人口/2,761
 世帯数/1,794

東北地区は、明治開拓期に道内の工業発展の中心として整備されました。今でも、当時のままの状態が開拓使麦酒醸造所(現在のサッポロファクトリー)などが残されており、歴史を感じます。

そんな歴史を受け継ぐ北三条通東一〜七丁目、元気なまちづくり支援事業を活用した「北三条通歩道美化事業」を実施しました。六月九日に、歩道の植樹ますや花壇に、ペチュニア・インパチェンス・ペコニアなど色鮮やかな花苗四千六百本を植栽しました。

連合町内会を中心に、老人クラブや社協等団体のほか、近隣の病院・事業所の応援を得て、六十人で実施しました。植栽後も、事業所やボランティアの協力で、歩道清掃や花苗への水やりを行い、歩道



▲今年は、小雨が降る中で行いました

(熊谷 良英 所長)

美化の維持を図ります。この事業は、住民をはじめ訪れる方の安らぎと、清潔感溢れる楽しく歩ける空間として環境整備していくとともに、様々な人が参加することにより地域活動の連携・協働を図ることを目的としており、平成十五年度から取り組んで今年で四年目となります。

広告欄